

ADESSO

LED温湿度電波クロック

MODEL: C8305

取扱説明書・保証書付

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用いただく前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願いいたします。また、この取扱説明書(保証書付)はお手元に保存の上、必要に応じてご覧ください。

本製品の特長

- 暗い所でもハッキリ見えるLED表示
 - 東西(福島、佐賀)の標準電波40/60kHzを自動的に選局受信して、現在の時刻を表示する電波修正機能(日本国内有効)
 - 電波を受信できない場合でも、通常のクォーツ時計としてご使用になれます。
 - アラーム・スヌーズ機能
 - 温度・湿度表示の最大最小表示
 - LEDは明るさ2段階切替
- ※この製品は日本国内用です。海外での使用には適していません。手動で時刻合わせをしていても、まれに日本標準電波を受信し、日本時刻を表示してしまう恐れがあります。

電波クロックについて

●電波修正機能とは

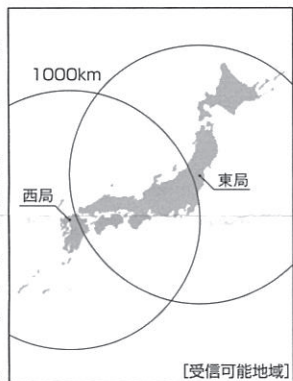
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

●標準電波とは

福島県の大鷹鳥谷山(おおたかどややま)標準電波送信所(周波数40kHz)と、福岡・佐賀県境の羽金山(はがねやま)標準電波送信所(同60kHz)の2ヶ所から常時送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度の『セシウム原子時計』によるものです。

●電波受信の条件

受信可能地域の目安は、条件により異なりますが各送信所よりおおむね1000kmです。受信範囲内であっても、地形・建物の影響などによる不受信や天候・設置場所・時計の向き・時間帯により受信できない場合があります。通常は東日本では東局(周波数40kHz)西日本では西局(同60kHz)の電波がより受信しやすいと考えられています。ただし、地域・地形などの影響により、遠い方の送信所の電波を受信する可能性がありますので、受信に失敗した場合はもう一方の送信所からの電波もお試ください。※標準電波は、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波される場合があります。※電波を受信できない場合は、通常のクォーツ時計として月差±30秒の精度で計時します。



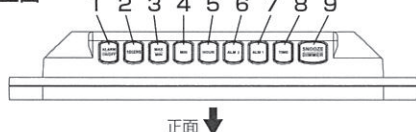
●受信に適している場所、不向きな場所・時間帯について

- 本製品は、AMラジオと同様に内蔵のレシーバーにより電波を受信するものです。できるだけ、電波の受けやすい窓際もしくは時計体の正面または裏面が送信所の方向に向く場所でご使用下さい。
- 次のような場所・時間帯では正確に受信できないことがあります。
- ①鉄筋・鉄骨の建物の中、ビルの谷間、地下。
 - ②電波を受信するのに妨げとなるノイズ(妨害波)の影響を受ける場所。
 - ・交通量の多い所、工事現場、電車の架線、高圧線、電波塔、空港の近く。
 - ・テレビ、インバータエアコン、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器近く。
 - ③電波が反射されやすく、受信しづらい場所。
 - ・スチール机などの金属製家具の上や近く、金属を使った壁面。
 - ④乗り物の中。(自動車、バス、電車など)
 - ⑤その他ラジオが受信しにくい場所など。
 - ⑥昼間は生活上のノイズが多く発生するため受信がしづらくなっています。夜間に受信することをおすすめします。

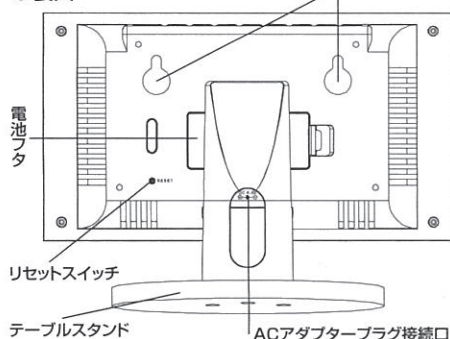


各部の名称

●上面



●裏面



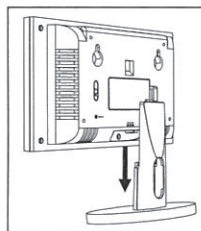
- 1.アラームON/OFFボタン (ALARM ON/OFF)
- 2.受信ボタン (RECEIVE)
- 3.最高/最低ボタン (MAX/MIN)
- 4.分ボタン (MIN)
- 5.時ボタン (HOUR)
- 6.アラーム2ボタン (ALM 2)
- 7.アラーム1ボタン (ALM 1)
- 8.時間ボタン (TIME)
- 9.スヌーズボタン (SNOOZE/DIMMER)

画面上の記号

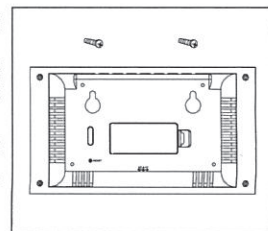


本体とテーブルスタンドのセット方法 / 壁面への取り付け方法

- 置時計として使う場合
図の用に本体をテーブルスタンドに差し込んでください。



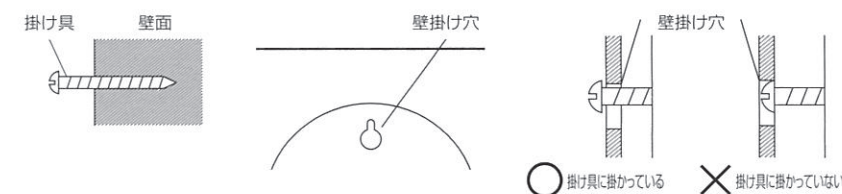
- 掛時計として使う場合
本体裏面に壁掛け用の穴がありますので、寸法を合わせてお取り付けください。



▲ 注意

○時計の掛け方について

1. 掛け具(木ねじ)を使用できる壁面は、木の柱や厚い木質の壁面です。それ以外の石膏ボード、コンクリート、薄いベニヤ板などの壁面には使用できません。掛け具以外のときは、時計を掛ける場所の材質に合い、時計の重量に十分耐えられる市販の掛け具を選んで取り付けください。
2. 掛け具は時計を掛けるため、ある程度の幅が必要です。掛け具がぐらぐらと動かなくなるまで押し込んで固定してください。
3. 掛け具がしっかり固定されて動かない事を確認の上、裏面の壁掛け穴に掛け具を通して、時計を掛けてください。
4. 壁掛け穴に掛け具が確実に掛かったことを確認するために、時計を上下・左右に軽く動かしてください。
5. 掛け具の止り具合、時計の掛け方が不完全ですと、時計が落下して怪我をしたり、時計



電池の交換方法(補助用)

1. 電池フタを取り外して、⊕⊖に注意し電池ボックスに単4×2本を入れてください。
2. 電池フタを閉めます。
3. ACアダプターが使用なくてOFFになった時、補助電池が作動し、時刻、アラーム設定時間をキープします。(この時LED表示は点灯しません。)
4. 電池だけではLED表示は点灯しませんので、必ずACアダプターを使用してください。

電波受信方法

■電波自動受信方法

1. ACアダプターをコンセントに差し込んだ後、電波受信を開始します。(電波の受信中は電波受信マークが点滅します)
 2. 受信に成功すると電波受信マークが点灯し、正しい時刻が表示されます。
 3. 受信に失敗すると電波受信マークが消えます。
- ※自動受信は毎日午前1時、3時、5時に受信します。午前3時までに受信に成功しない場合、成功するまで毎日3時間毎に自動受信します。
- ※一日の内で夜間の方が昼間に比べて比較的受信状態が良くなります。自動受信できなかった場合でも一昼夜置くことにより受信できる場合があります。

■強制受信方法

1. 自動受信に失敗したときや、リセットボタンを押した後、受信状態が良くないときなどに手動での電波受信をしてください。
2. 受信ボタン(RECEIVE)を2秒間押し続けてください。電波受信モードになります。
3. 電波受信状態が良い場合、5段階で表示され、弱い場合は電波受信マークが消えます。



- この場合受信感度の良い窓際などや、本体の向きを変えるかACアダプターをはずして再度入れ直してスタートさせてください。
- 受信中、受信強度が次第に良くなり日本標準電波を受信し、通常表示になります。
4. 受信中TIME(時間)ボタンを1回押すと、通常時間になり、受信ボタン(RECEIVE)を再度押すと受信モードになり電波受信マークが表示されます。

手動で時刻を合わせる

電波を自動受信できなかったときは、手動で時刻合わせをしてください。その場合クォーツ時計としてご使用いただけます。

■手動での時刻合わせ方

1. TIME(時間)ボタンを押し、同時に時ボタン(HOUR)を押すと"時"が進みますので合わせてください。
2. 次にTIME(時間)ボタンを押し、同時に分ボタン(MIN)を押すと"分"が進みますので合わせてください。
3. 分のセットが終わりましたら、秒は自動で00に戻りますので合わせてください。

液晶表示の明るさ調節について

スヌーズボタン(SNOOZE/DIMMER)を押すとLEDの明るさを2段階で調節できます。

年、日付の表示について

・年を表示させたい場合は、通常表示時に時ボタン(HOUR)を押してください。

・日付を表示させたい場合は、通常表示時に分ボタン(MIN)を押してください。

・しばらくすると時間表示に戻ります。すぐに戻したいときは時間ボタン(TIME)を押してください。

・手動で時刻を設定した場合、電波受信中の場合は年、日付は表示されません。

アラームについて

■アラーム1のセット方法

1.アラーム1ボタン(ALM1)を押し、同時に時ボタン(HOUR)を押すと“時”が進みますので合わせてください。(午後の場合、PMの横の●が点灯します)

2.次にアラーム1ボタン(ALM1)を押し、同時に分ボタン(MIN)を押すと“分”が進みますので合わせてください。

■アラーム2のセット方法

1.アラーム2ボタン(ALM2)を押し、同時に時ボタン(HOUR)を押すと“時”が進みますので合わせてください。(午後の場合、PMの横の●が点灯します)

2.次にアラーム2ボタン(ALM2)を押し、同時に分ボタン(MIN)を押すと“分”が進みますので合わせてください。

■アラームを鳴らすには

1.アラームON/OFFボタン(ALARM ON/OFF)を1回押すと液晶表示のALM1の左側に●が点灯します。この状態がアラーム1のON状態です。

2.再度アラームON/OFFボタン(ALARM ON/OFF)を押すと液晶表示のALM2の左側に●が点灯します。この状態がアラーム2のON状態です。

3.再度アラームON/OFFボタン(ALARM ON/OFF)を押すと液晶表示のALM1とALM2の左側に●が点灯します。この状態がアラーム1と2のON状態です。

4.再度アラームON/OFFボタン(ALARM ON/OFF)を押すと液晶表示のALM1とALM2の●が消灯します。この状態がアラームのOFF状態です。

■アラームを止める場合

1.アラーム1のアラームが鳴っている時、スヌーズボタン(SNOOZE/DIMMER)を押すと一時アラーム音が止まり、ALM1●が点滅し5分後にまた鳴り出します。

または、アラーム1ボタン(ALM1)を押してアラーム音をOFFにします。翌日同じ時刻に再び鳴ります。

※アラーム2も同上の操作をしてください。ただし、押すボタンはアラーム2ボタン(ALM2)になります。

温度・湿度計について

1.通常表示の時、最高/最低ボタン(MAX/MIN)を1回押すと電源ON後の最高の温度・湿度が表示されます。

2.再度最高/最低ボタン(MAX/MIN)を押すと、最低の温度・湿度が分かります。

※上記の操作後、何もボタンを押さなければ30秒後に通常表示に戻ります。

3.再度最大/最少ボタン(MAX/MIN)を押すと通常表示に戻ります。(現時刻・現温湿度表示)

■温度・湿度のHI/LO表示について

温度・湿度が一定の値を上回った場合「HI」、下回った場合「LO」と表示されます。



温度 -20℃以下



温度 60℃以上



湿度 20%以下



湿度 90%以上

■適温18～25℃、適湿40～65%

外気との温度差が5℃前後が、健康上望ましい状態です。

■湿度は場所によって変わります。

●湿度とは、空気の乾燥の度合いです。空気中には常に水蒸気が含まれており、一般に天気が悪くなると空気は湿っぽく、晴天が続くと乾燥します。湿度は温度との関係が決まりますが、室内の湿度は、場所によって違うだけでなく、空気が「かたまり」で移動するため、同じ室内でも風通しの良い空気の循環するところと、部屋の隅のように空気が淀んだところでは、湿度はずいぶん違ってきます。

●このように湿度の測定は、非常に困難なためいすれの湿度計についてもその精度の確保には限界があります。このため検定もおこなわれず政令で定める「家庭用計量器」の指定機種にはなっていません。湿度計を使う場合は、精度±7%程度を見込んで目安としてご使用するくらいが良いといえます。

※この商品は室内のみでご使用ください。

ご注意

※本製品は工業用計測器として使用する目的で製造されたものではありません。ご使用にあたっては、製品の特性を良くご理解の上お使いください。

※温度・湿度の精度誤差などにより生じる二次災害や損害等については、弊社では一切その責任を負えませんのでご了承ください。

製品仕様

精度：平均月差±30秒(気温5℃～35℃で使用した場合)(電波受信による時刻修正を行わない場合)

表示精度：±1秒(電波受信による時刻修正を行った直後)

使用温度範囲：-10℃～+50℃(ただし、表示判読可能温度範囲-8℃～+49℃)

アラーム機能：2つのアラーム設定

スヌーズ機能：5分間隔

使用電源：ACアダプター／単4乾電池×2本

電波受信機能：自動受信、次の受信までクォーツの精度で動いています。

手動受信(強制受信)

※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更する場合があります。

使用場所・お手入れ方法

■使用場所

つぎのような所では、使わないでください。

●温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。

●温度が+50℃(50度)以上になる所や直射日光が当たる所。

例えば、屋外、暖房器具などの熱風や熱が当たる所、そのほか火気に近い所。

●浴室など湿気の多い所。

●強い磁気や振動がある所。

●電波ノイズを発生させるものの近く。

■お手入れ方法

日常の手入れの仕方。

●わくをふくときは、湿ったやわらかい布でふいてください。

●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ばきしてください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。

●殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。

電池について

⚠ 警 告

●アルカリ電池について

①ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。

アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

②万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注 意

●電池について

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂などのおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

①⊕⊖を正しく入れてください。

②電池を取り替えるときは、指定の新しい電池とすべて交換してください。

③この電池は充電式ではありません。絶対に充電しないでください。

④電池に直接ハンダ付けしないでください。

⑤直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。

⑥時計が止まったり、時計を使わないときは、電池をはずしてください。

⑦時計に添付の電池は工場出荷時よりつけられていますので、電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。